

「あなたの一生懸命は消えません」

あべともこどもクリニックでは、子育て中のご家庭を積極的に支援しています。そのために医療スタッフではない私も勤務しています。

振り返ると、これまで様々なご相談を受けてきました。

みんな、「いい親になりたい。子どもの幸せのためならなんでもしよう」と思っていたし、実際になんでも子どものためにしてきた。それなのに、なぜ思った通りに育たなかったのか…。

そもそも「いい親」とはどういう「親」なのでしょう？

この質問は、「いい人間」とはどういう「人間」？、よりも答えが難しいのではないかと思います。

親は気がききすぎてもよくないし、気がきかないのも困ります。優しさと厳しさをバランスよく兼ね備えている必要があるでしょう。

きちんとした女性になってほしいと願って、厳しく育ててきたら、思春期に不登校になった。そんな M ちゃんのお母さん。

そのご家庭のお父さんは幸い面白い方でした。だから、うまく M ちゃんはためこんでいたものを吹き飛ばすことができた。「わたしがやってきたことは何だったのか？」とすっかり気落ちしているお母さん。

でも、「家族のために一生懸命やってきてくれたことは決して消えて無くなったりはしないよ」、とカッコよく思春期を一緒に乗り越えていった家族を思い出しました。

2 学期がはじまりましたね。

一生懸命やったことは、すぐに結果はでなくても必ずいつか実ることを信じて…

関谷 久美子